

“ありがとう”豊岡から
豊岡市経済部観光課長 加藤 勉



7月9日からの3日間豊岡市をお尋ねいただきお礼申し上げます。
「観て」・「味で」・「診て」・「魅で」の4つの「みて」で観光を推進しています。
まず「観て」ですが、「城崎温泉」や「出石」の町並み、大空を舞う「コウノトリ」等です。
次の「味で」は、農家民宿の料理や出石の皿そば等は食べる喜びを体験させてくれます。
3つ目の「診て」は、皆様も体験された、「農業」や「塩作り」、また「ゆかた」を着ての町並み散策などです。
最後に「魅で」ですが、その中で触れ合ってくださいました人達のおもてなしの心も感じていただいたものと思います。
人間同士の触れ合いは、何よりも勝ると信じています。
留学されている皆様の「来豊」に感謝するとともに、再来していただくことをお願いしてお礼とします。
ありがとうございました！



兵庫EU協会は、今年、創立から20年を迎えました。記念事業の一環として「兵庫のふるさと『コウノトリ翔ける但馬』」に出会おうと銘打って、7月9日～11日の2泊3日で、日、欧、アジア等の若者を対象とした夏合宿を企画しました。
ヨーロッパのみならずロシアやアメリカ、アフリカを含めた17の国や地域からの留学生や社会人33名が、但馬・豊岡に集いました。地域や国という壁を越え、共に生活し、フィールドワークを通して一緒に考え、連携するという体験を、ここ兵庫で学んでもらいました。彼らが将来、この経験を生かし、未来の地球市民社会づくりに大きく貢献することを期待せざるにはられません、そして、兵庫を第二の故郷と感じてくれたものと確信しています。

今回メンバーが訪ねた豊岡には、残された日本の原風景が数多く残されています。この新聞を手にとられた皆さん、是非、この新聞を参考に足を運んでみてください。

(公財)兵庫県国際交流協会
主幹兼企画広報課長 島田 三津起



神戸親和女子大学 池田 りな



「豊岡新聞」を読んで下さった方々が、豊岡に関心を持っていただければ嬉しいです。私は、兵庫県で生まれ育ちましたが、豊岡市について何も知りませんでした。4月に実施した下見で、初めて豊岡市を訪れました。その際に、自然の豊かさや人々の温かさに大変感動しました。ぜひ、私のような体験を多くの人にしてもらいたいという想いから、プログラムを企画、運営しました。アンケートでは、全員が「参加して良かった」と答えてくれたので、本当に良いプログラムだったと改めて思いました。
3日間という短い期間でしたが、参加者同士で深い交流ができたと思います。今後も、国籍、大学、年齢の枠を越えてできた友情の輪を大切にしていきたいと思います。御協力してくださいました。本当にありがとうございました。

プログラムから

青少年交流プログラム総評価 (担当 池田 りな)

1. 参加者同士で交流を深めることはできましたか

- 留学生と露天風呂に入りながら恋愛の違いなどを語り、貴重な経験ができた(日本・女)
- バスの座席を指定するなど、多くの人と関わる機会があり良かった(スウェーデン・男)
- 日本に来たのに、留学生とばかり関わっていたので、日本人学生と交流ができて嬉しかった(オーストリア・女)
- The Japanese students were very encouraging of my Japanese. I would like to be kind to exchange students when I go back (イギリス・男)
- 永楽館での発表に向けてみんなで協力したので仲が深まった(フランス・男)



2. 豊岡での暮らしを体験し、新たな側面から日本を見ることができましたか

- 日本で近くにコンビニを見つけれないのは、初めてだった(オーストリア・女)
- お金やモノの豊かさではなく、人々の温かさや自然の豊かさを感じた(オーストラリア・女)
- 豊岡は素晴らしい場所だが、病院、学校、仕事場...など田舎は不便なことが多いと思った(セルビア・男)
- Country life of Japan. Beauty of Japan. Traditional Sprit and life of Japan. (インド・女)
- 日本に来る前に、イメージしていた日本の姿を見ることができた(イギリス・女)



3. 地域の方々との交流を通じ、豊岡の町おこしは成功していると考えますか

- 地域の方から、連帯感が感じられ「コウノトリ」をみんなで守っていた(フランス・男)
- 塩作り、温泉、農家民宿...豊岡には、楽しめる施設がたくさんある(インド・女)
- 住民が意識を持ち、街作りをしていた。今後、ますます田舎は減っていくので、30年後、40年後にはもっと貴重な場所になると思う。(日本・男)
- 成功していると感じたが、お年寄りの方が多く、今後が心配だ(ベトナム・男)
- 「絶対また来たい」と思ったから、成功していると思う(アメリカ・男)

4. 1番心に残っていることはなんですか

- 地域の方々が、積極的に交流してくれたこと(スウェーデン・男)
- 国際交流には、よく参加するがあまり仲良くなることができなかった。合宿では寝食を共にし、今後も連絡を取り合えそうな友人ができた(日本・女)
- 調味料無しに、新鮮な野菜を食べ、本当の野菜の味がわかったこと(インド・女)

Toyooka Bulletin - Information on visiting Hyogo

豊岡新聞

～『兵庫のふるさと「コウノトリ翔ける但馬」に出会おう』から～

Hyogo EU Association, Hyogo Unicollabo Student Planning Committee,
Hyogo International Association



美しい自然に恵まれた豊岡。美しい山、川そして海、田んぼが残る日本の原風景。しかしそれだけではなく、絶滅したコウノトリの野生復帰のために豊岡の人々は大変な努力をしてきました。そして、自然との共生を目指しながら地域づくりを進める環境戦略を有しています。
今、豊岡は小さな世界都市として、持続可能性、自立そして誇りを世界にむけて発信しています。コウノトリと共に生きるとはどういうことなのか、彼らのチャレンジについて学び、考えました。

<実施事業概要>

事業:兵庫EU協会創立20周年事業「青少年交流プログラムin豊岡」
日程:平成22年(2010年)7月9日(金)～11日(日)2泊3日
主催:兵庫EU協会、ひょうご大学連携推進協議会・学生企画委員会、(公財)兵庫県国際交流協会
協力:豊岡市
後援:兵庫県、駐日欧州連合代表部



豊岡 Toyooka

『兵庫のふるさと「コウノトリ翔ける但馬」に出会おう』



塩作り(誕生の塩工房)

豊岡市竹野町では、室町時代から塩を作っていたといわれています。この誕生の塩工房では、昔のように実際の海水を用いた塩作りが体験できます。地域が推進する「たけのスタイル」の一環であるこの施設は、観光協会と豊岡市の助成を受けて運営され、豊岡市の町おこしのシンボルです。

この塩工房では伝統的な塩の作り方を体験するとともに、その塩を使って自分達で炊いたお米でおにぎりを作りました。また、竹を切ってやすりで削って食器を作り、全て手作りの昼食を体験しました。

～アンケートからの分析～

・海水から塩を作ったことはありましたか？ Yes:1人 No :30人
→ほとんどの人が初めての塩作り体験のようです。日本人でもなかなか海水から塩を作ったことはないですよね。

・塩の作り方がよくわかりましたか？ Yes:30人 No :1人
→過程の一部だけでしたが、実際に海水を熱していき、アクを何度もとって、やっと塩が浮いてくるという体験をすることで、塩の作り方がよくわかったようです。



・なぜ塩工房が建てられたかわかりましたか？ Yes:15人 No :16人
→町おこしの理解が難しいところがあったようです。



○塩作りをととしての感想 ○

- ・1ℓの海水から10gの塩がとれるというのは思ったより多かった。(日本/女)
- ・伝統的な作り方を知ることができた。(イギリス/男)
- ・火をおこすところが難しかった。(ロシア/女)
- ・竹からお皿を作ったのが面白い体験だった。 吉崎 聖香(よしざき せいか)関西学院大学4年(オーストラリア/女)

奥神鍋 奥神鍋の民宿にて

7月10日の夕刻、奥神鍋の山田の集落で留学生と地区の方々との交流会がありました。夕食後、婦人会の皆さんや、お孫さんの手を引いたお年寄り、民宿ご主人など今回留学生の受け入れにご協力をいただいた方々が三々五々山田地区の公民館に参じてくれました。交流会は地元で伝わる伝統舞踊(そうだろ節)のご披露で始まり、それがいつの間にか舞踊講習会の様相となり、引き続き行われた座談会は数人ずつで輪になり、顔を付き合わせ盛上を見せ、極めつけはお互いの、思い出のラプソディの披露など即座に打ちつけた雰囲気となりました。



中国の高校生を迎え、時間を忘れるほどの真剣な筆談会話が熱くなったこともあり。今回は留学生の流暢な日本語で、意思疎通に問題なく皆さんの普段着のご対応を心地よく受けた様です。

ある学生が、自国に帰ったら両親の故郷と一緒に帰りゆっくりと田舎を見てみたいと語ってくれました。

山田地区の区長様をはじめ皆さんに、今回もいつもどおり普段着のまま留学生を受け入れてくれたご努力に感謝いたします。これからも普段着で無理のないご対応をお願いいたします。



「ご案内したものとして」 元(株)日本旅行社員 現 関西広域機構 関西国際観光推進センター主任調査役 小西 晶

出石

出石は「古事記」「日本書紀」にも登場する歴史のある町です。現在も残る町並みは、丹波の小京都と呼ばれており、特産品は出石そば、出石焼、出石ちりめんが有名です。

私たちは浴衣の着付けをしてもらい、実際に現地の高校生に町を案内して頂きました。その後、永楽館と呼ばれる明治34年に開館した近畿最古の芝居小屋にて今回の活動の集大成としての報告会を行いました。内容は、5つのチームに分かれて「言葉」や「伝統文化」等の各班テーマに沿った発表を行いました。さらに地域の方々と留学生との質問会を通して国境を越えた新しい気づき・発見のある交流を行いました。

＜アンケート＞
Q1、豊岡に来る前に出石について何か知っていましたか？
YES→2人 NO→30人 ・来る前まではほとんどの方が知らなかったようです。
Q2、今までに浴衣を着たことがありますか？ YES→21人 NO→11人
・半数以上の方が着たことがあるという事で意外と浴衣が身近にあるという事に驚きました。

＜浴衣を着た事について感想＞

- “Yukata”を着て歩くのはしんどかったけど、日本ならではの雰囲気を感じられるので良かったです。(韓国・女性)
- 下駄はしんどかったけど楽しかった(イギリス・男性)
- ＜永楽館の発表について＞
- 準備するのも発表するのも楽しかった。永楽館はほんとにすごい建物で感動した。(フランス・男性)
- It was a good experience and a good idea for more interaction between us.(チュニジア・男性)

松田 涼平(まつだ りょうへい) 甲南大学4年



夢大地

夢大地とは人と自然にやさしい農業を確立し、「安全・安心な青果物をお客様のもとへお届けしたい」という夢を実現するための学生が多かったです。各国留学生と日本人学生はネギ収穫方法などを説明して頂いたあと、ネギの収穫を体験しました。



ネギを植えるのも収穫するのも初めての学生が多かったです。夢大地のみなさんと交流する中で、本当に真摯に接して下さい、農業のことを多く学べました。農作業の大変さ、農村のもつ豊かさ、それぞれに様々な思いや発見があった事と思います。

アンケート

1. 農業体験をしたことがありますか
はい18人 いいえ14人
2. 日本における農業問題を知っていますか
はい13人 いいえ19人
後継者不足、自給率問題、嫁不足、耕地放棄、低収入、
3. この経験を通じて、何を学びましたか
・単調な仕事だが、緑いっぱい、人も優しくだったのでのんびりした時間を過ごせた(中国・女)
・夢大地の方からお話を伺い、物をつくるやりがいを感じた。個人で農業をするのではなく、会社として行うことで効率的に運営できると思った。(日本・男)
・Very hard work made me appreciate the effort the people put into so that we can have fresh produce. (オーストラリア・女)
・農業に関心を持った若者を見て、少し安心した(アメリカ・男)

趙(ちょう)シュンゲツ(神戸大学大学院2年)



夢大地にて

コウノトリの郷公園

コウノトリは、国の特別天然記念物であり、兵庫県の県鳥です。そんなコウノトリが日本で最後に生息した場所が、但馬地域・豊岡市です。『コウノトリの野生復帰の実現～コウノトリと共生する地域づくり～』を目標として掲げ、豊岡市をはじめ地域住民の方々が協力し、長年にわたりコウノトリの保護・繁殖に取り組んでおられます。

私たちは、ここで、コウノトリの保護・飼育・繁殖・野生化に向けての研究、環境づくりなどへの取り組みについてレクチャーを受け、実際に敷地内にいるコウノトリを直接見ることができました。

Question

以前から、コウノトリを知っていましたか？



現地を訪れる以前からコウノトリを知っている人の割合は上記に示したものでした。しかし、やはり現地に訪れてお話を伺うことで、コウノトリを題材として地域住民の方々の思い、地域振興の在り方、自然の大切さについてより深く考えることができました。

参加者のコメント

- ・That the people here put so much effort in to recreate the living space for oriental white storks! (ドイツ・女性)
- ・害のない農業を使用しなければならないことなど不便もあるが、結局はそれが地域全体の自然環境の向上につながるとうことを学びました。(日本・男性)
- ・農家の方々が本当に環境のために頑張っていて、みんなの望んでいることが実現しているのは素敵! そして、コウノトリがそのきっかけになっているのも素敵なことだと思う。(アメリカ・男性)
- ・コウノトリと共生できる地域を作るために、経済の発展と環境保護をバランスよく進めていく必要があります。(中国・女性)
- ・The best place to live is where the people and all the animals can live harmoniously together! (ベトナム・男性)



福田 沙紀(ふくだ さき) 神戸国際大学4年

農家民宿

農家民宿とは、農家を経営している方が、一般の人々に家を宿舎として提供しているものです。民宿のまわりでは、山菜や作物を作られ、自給自足によってお客様に食べてもらいます。また、宿泊者がさまざまな体験をすることができま

す。今回私たちは、八平・善・一里という3つの農家民宿に一泊しました。農家民宿は本当に楽しく、リラックスした時間を過ごすことができました。それは、農家民宿のご主人やおかみさんの温かいおもてなしによるものだと感じました。私たちは、その優しい心に感動し、自然と「ありがとう」という感謝の気持ちをもつことができました。



	八平	善	一里
体験	BBQ 近所回り etc	餅つき ホタル観賞 etc	そば打ち 着物着付け etc
コメント	People have so big hospitality and warm heart. I really feel like with family. (セルビア・男性) 古き良き日本を体験できてよかったです。(日本・男性)	私は家族と一緒にいるという感じを持つようになって、ほんとうにありがとう (インド・女性) フランスで農家民宿を開きます。”merveilleuse”経験でした。(フランス・女性)	Everyone was very friendly and felt like I was staying at my grandparents' house. (オーストラリア・女性) This stay has enriched my experiences in farmer immensely.(イギリス・女性)



廣田 智行(ひろた ともゆき) 神戸大学4年

